

第18期 第7回小平市緑化推進委員会 会議要旨

- 開催日時 令和5年10月27日（金）午後3時～午後5時
- 開催場所 小平市役所 5階 502会議室
- 出席者 椎名委員長、山田副委員長、河野委員、中島委員、八田委員、上村委員、塩島委員、山下委員（順不同）
- 傍聴人 1人
- 議題 第18期小平市緑化推進委員会の検討課題について
- 配付資料 (1) 第18期 第7回小平市緑化推進委員会次第
(2) (仮称) 小平市用水路管理方針（素案）について
(3) 第18期 小平市緑化推進委員会提言書（たたき台）

会議の要旨

事務局より、前回委員より質問のあった「ハンギングバスケットの調査」について委員へ報告した。

委員長

清瀬駅北口のハンギングバスケットの数はいくつ設置されているか。

委員

4か所である。下にある花壇の上に植木鉢が設置されており、駅前広場を囲う形で設置されている。

委員長

清瀬駅の事例は空間に吊るしているわけではないが、ハンギングバスケットと呼べるのか。

委員

小平駅南口からルネこだいらまでこれらの花壇が並んでいたら、立体的で華やかな空間になると考える。また、小平駅南口ロータリーの花壇からの連続性も創出できる。植木鉢型であれば設置も比較的容易であるとする。

委員長

盛岡市では、ハンギングバスケットの設置にあたり作成費を補助する制度があり、8割を負担するとあるが、商店街の活性化を目的として東京都で補助を行ってもらうことを想定できないか。

ハンギングバスケットの設置においては、予算について、個人で管理することについて問題もあるため、検討する必要がある。管理方法については緑化推進の観点だけの問題ではないと考える。

事務局より、配布資料（２）「（仮称）小平市用水路管理方針（素案）について」を委員へ説明した。

委員長

質問はあるか。今すぐ質問するのが難しければ、次回までに読んで考えて来てもらいたい。

○第18期小平市緑化推進委員会の検討課題について

委員長より、配布資料（３）「第18期 小平市緑化推進委員会提言書（たたき台）」の内容を説明した。

委員長

たたき台について、修正や提案があれば意見を頂きたい。

委員

街路樹の倒木が問題になっているため、樹木を植えるだけでなく、交差点周辺は民間の緑を利用し、活かすことなどが必要だと考えるが、提言書に入れることはできないか。

委員長

道路の緑がどうあるべきかという話ではないか。国の道路緑化基準は現在も存在するのか。

事務局

存在はしていると思われる。倒木の危険性があることから、以前よりも植栽柵を大きくする、交通対策の面から車の出入部分については樹木を植えないようにするなどの個別の基準は存在している。

委員長

道路緑化の役目についてどう考えるかということではないか。安全面の確保については、道路管理者が考えることで、緑化推進委員会で検討することではない。「国の道路緑化基準

に基づけば」という考えは削除しても良いと考える。

公園の有効活用について意見はあるか。「公園を核としたまちづくり」において、指定管理者の導入は発想として素晴らしいが、コスト面の解決や、玉川上水と緑による連携と相乗効果の拡大など、小平市初の指定管理者制度の導入としては難しい面もあると考える。

委員

ハンギングバスケットの設置の目的として、市制70周年記念などで設置をするのはどうか。

委員長

記念事業などはきっかけになると考える。小川駅の再開発は時期的に重なるのではないかと。中央エリアの完成記念などに設置することも考えられる。駅などに設置するのであれば、駅の乗降客数などを考えるのも一つだと思う。

委員

こだいら花いっぱいプロジェクトの一環として行うのはどうか。

委員長

花いっぱいプロジェクトとなると、緑と花いっぱい運動の会などの団体の協力が必要であり、そのために団体の同意をとる必要があるため、確認しなければいけない。

ルネこだいらでは壁面などがあり、ハンギングバスケットの設置に向いていると考える。ルネこだいらの敷地を調査したうえで、設置を検討することはできるのではないかと。

公園カードの意見もあるので、見本や提案でいいので、次回までに作成していただきたい。修正などがあれば次回までに指摘していただきたい。タイトルについては次回決定したいと考える。

他になればここまでにする。

以上